

中小機構の カーボンニュートラル支援策のご案内

令和8年5月20日

独立行政法人 中小企業基盤整備機構
北陸本部 企業支援課

【組織概要】

名称：独立行政法人中小企業基盤整備機構（略称：中小機構）

所管官庁：経済産業省（中小企業庁）

設立：平成16年7月1日

職員数：822名（2025年4月1日現在）

主要拠点：

- 本部（東京都港区）
- 地域本部等（北海道～九州・沖縄まで10拠点）
- 中小企業大学校 9校



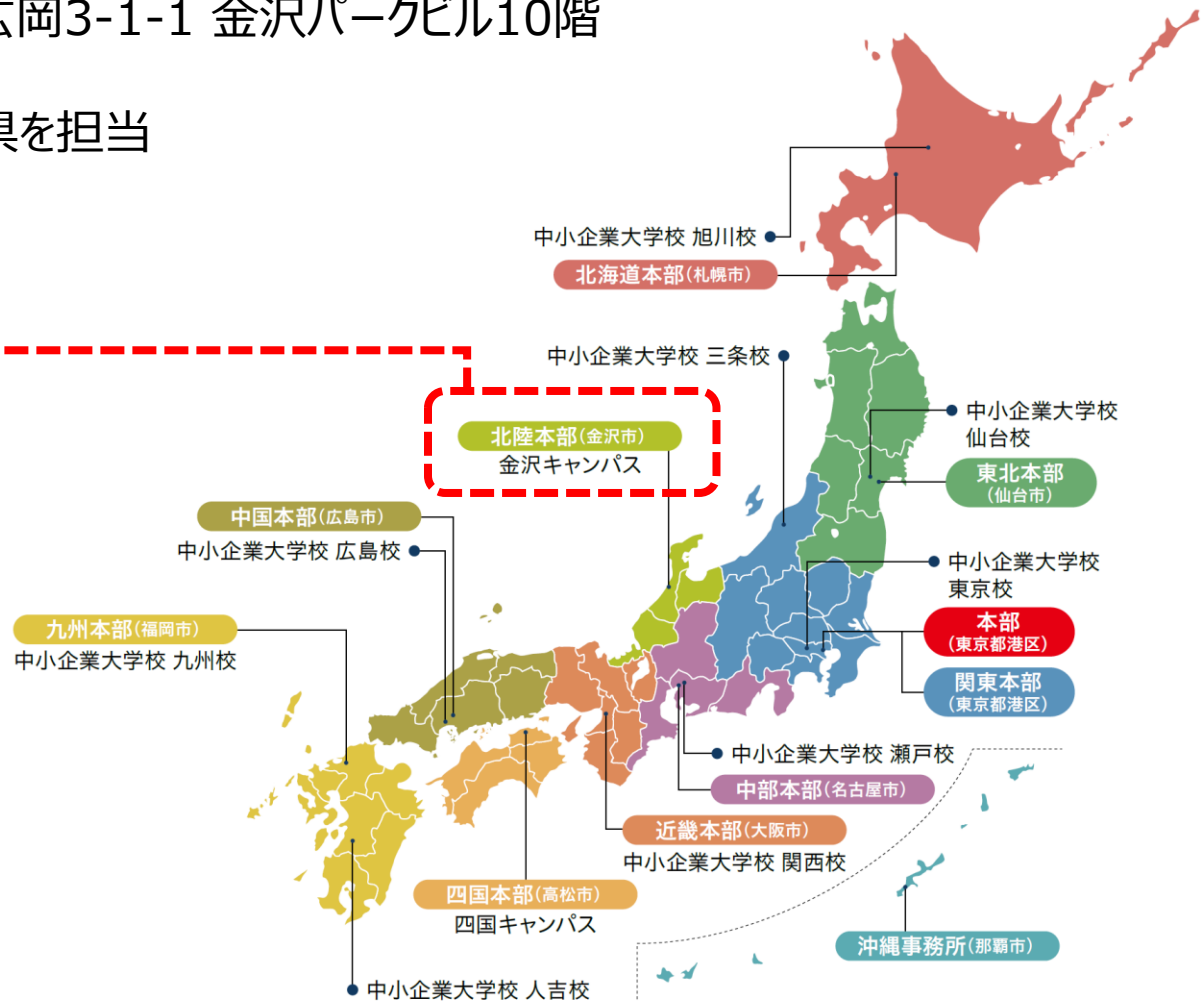
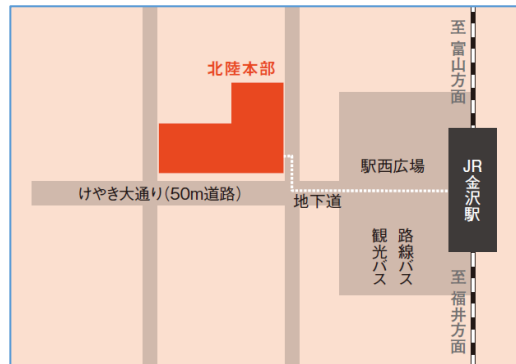
【目的】

国の中小企業政策の中核的な実施機関として、起業・創業期から成長期、成熟期に至るまで、企業の成長ステージに合わせた幅広い支援メニューを提供しています。

○ 中小機構 北陸本部

北陸本部：石川県金沢市広岡3-1-1 金沢パークビル10階

石川県、富山県、福井県の3県を担当



事業の創出

起業・創業・スタートアップ

- ・ **インキュベーション**
全国29ヶ所にインキュベーション施設を展開。
常駐する専門家が早期の事業化を一貫してサポート。
- ・ **FASTAR**
スタートアップ、起業予定の方の資金調達や事業提携に向けた、伴走型のアクセラレーター（成長加速化）支援。
- ・ **スタートアップ挑戦支援事業**
スタートアップや起業予定の方の戦略立案・資金調達等の課題に専門家がアドバイス。
- ・ **TIP*S・BusiNest**
起業・創業を目指す方の交流や学びの場を提供し、創業前・創業初期段階における実践の第一歩をサポート。
- ・ **Japan Venture Awards (JVA)**
次なる日本のリーダーとして果敢に挑戦する起業家を表彰し、ロールモデルとして広く紹介。
- ・ **債務保証（ベンチャーデット）**
法認定を受けたスタートアップ企業の事業拡大ステージにおけるデット調達をサポート。
- ・ **起業支援ファンド**
設立5年未満の創業、成長初期段階のベンチャー企業への投資を目的としたファンドに対して出資。

経営相談

経営課題の解決

- ・ **経営相談**
オンライン、対面、電話、メールなど、希望に応じた方法で、経営に関するさまざまな課題に各分野の専門家がアドバイス。
- ・ **ハンズオン支援（専門家派遣）**
個別の経営課題に応じて、豊富な経験と実績を持つ専門家チームを派遣して支援。
- ・ **ものづくり支援**
技術開発における計画策定から事業化までを、専門家のアドバイスによりサポート。

事業の発展

100億企業の創出

- ・ **成長企業伴走支援**
売上高100億円超への飛躍的成長に向け、海外展開、人材確保・育成、新分野進出、設備投資等に関する様々な支援を提案しながら伴走。

新事業展開

- ・ **販路開拓・マッチング支援**
ビジネスマッチングサイト「J-GoodTech（ジェグテック）」、海外CEO商談会、展示会、海外市場等での受容性調査（海外展開テストマーケティング支援）などにより販路開拓をサポート。
- ・ **海外展開支援**
海外市場に知見が深い専門家によるアドバイスや、海外現地への調査、ビジネスパートナーの発掘などを支援。
- ・ **事業再構築支援**
新分野展開等の事業再構築に向け、相談・助言や専門家派遣・人材育成でサポート。補助金により新市場進出、事業・業種転換、事業再編、国内回帰、地域サプライチェーン維持・強化又はこれらの取り組みを通じた規模の拡大等、思い切った事業再構築を支援。
- ・ **中小企業成長支援ファンド**
中小企業の成長・発展及び、中小企業の事業承継、事業再編・再構築を目的としたファンドに対して出資。

資金支援

- ・ **高度化事業**
工場と住宅が混在する地域問題の解消や街の活性化を目的とする集団化、集積整備などの実施に当たり、都道府県と一体になって診断助言や貸し付けを行う。

人材育成

人材支援事業

- ・ **中小企業大学校**
全国9ヶ所の中小企業大学校や、各地域本部において、経営に役立つ実践型の研修を開催。
- ・ **サテライト・ゼミ**
全国各地の支援機関や金融機関などと連携し、少人数参加型の研修を実施。
- ・ **WEBee Campus（ウェビーキャンパス）**
インターネットやweb会議システム、動画教材により、職場にいながら受講できる研修を提供。

事業の継続

事業承継・再生

- ・ **事業承継・引継ぎ支援**
全国の「事業承継・引継ぎ支援センター」と連携し、円滑な事業承継に向けたアドバイスや後継者不在企業のマッチングをサポート。
- ・ **事業再生支援**
全国の「中小企業活性化協議会」と連携し、収益力改善・事業再生・再チャレンジに向けたアドバイスや再生計画策定をサポート。
- ・ **中小企業再生ファンド**
中小企業の再生支援を目的としたファンドに対して出資。

共済制度

- ・ **小規模企業共済**
小規模企業の経営者や役員の方が、廃業や退職時の生活資金などのために積み立てる共済制度。
- ・ **経営セーフティ共済（中小企業倒産防止共済）**
取引先の倒産時に、無担保・無保証人で掛金総額の10倍まで、迅速に必要な事業資金を借り入れできる共済制度。

震災復興・災害対応

- ・ **被災事業者支援**
地震や豪雨などで被災した企業へのさまざまな支援。
- ・ **災害に対する備え**
事業継続計画（BCP）のはじめの一步である事業継続力強化計画（ジギョケイ）の策定やフォローアップなどをサポート。

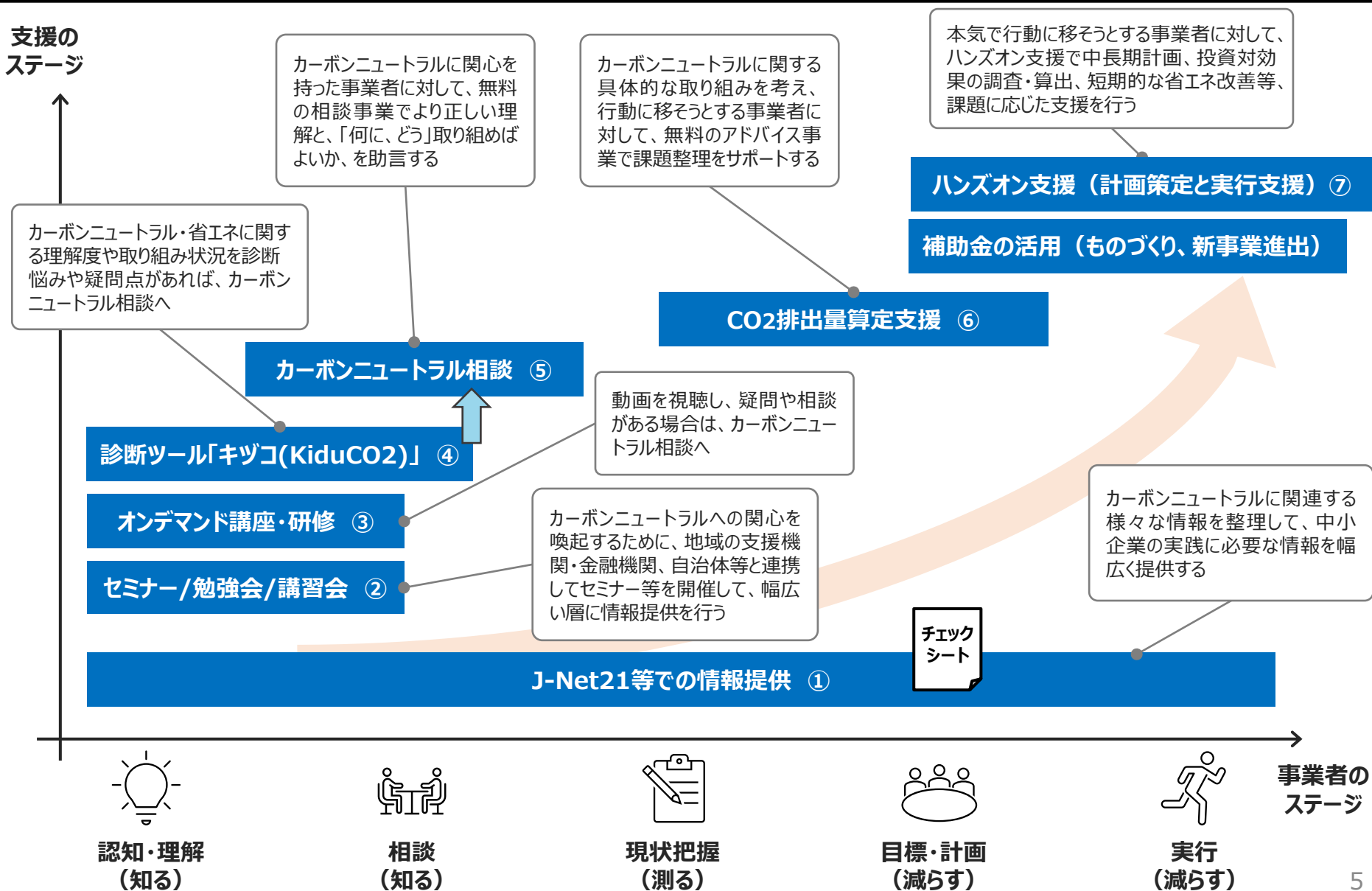
生産性の向上

生産性の向上

- ・ **生産性革命推進事業**
補助金により設備導入やIT導入、販路開拓等を通じた生産性向上への取組みを支援。
- ・ **IT活用**
IT導入の各段階で活用できるツールやお役立ち情報を発信。

○ 中小機構のカーボンニュートラル支援

～全体像～



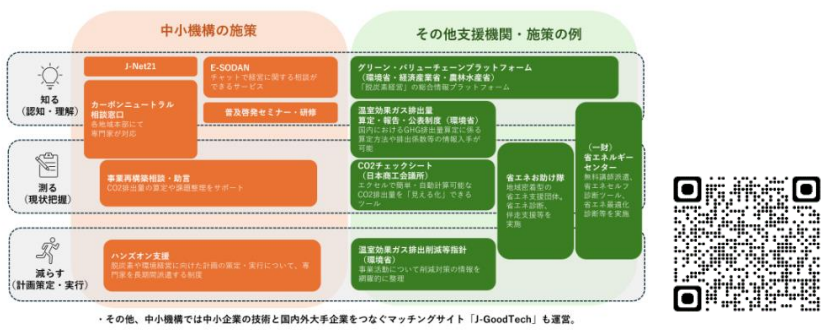
① 情報提供 (J-Net21)

※J-NET21とは、中小機構が運営する、中小企業とその支援者のためのポータルサイトで、様々な経営課題ごとに、知りたい情報を簡単に探すことが可能。 <https://j-net21.smrj.go.jp/>

● J-Net21に特設ページを設け、「カーボンニュートラル」に関する**施策情報、取組みの手順、セルフチェックシート**等を提供しています。

■ J-Net21 カーボンニュートラル特設ページ

カーボンニュートラル実現に向けた中小機構とその他支援機関の施策の例



https://j-net21.smrj.go.jp/special/chusho_sdgs/carbonneutral/index.html

J-Net 21 経営課題解決メニュー > **支援情報ヘッドライン** >

経営課題を解決する羅針盤

上部タブの**支援情報ヘッドライン**から「富山県」で絞り込み、地域ごとのイベントや補助金情報を検索することができます。

■ カーボンニュートラルセルフチェックシート

3つの手順【①現状把握（認識・知識）②取り組み（行動・意識）③計画策定（計画・今後の方針）】でカーボンニュートラル実現に向けた取り組みの手順を紹介。

カーボンニュートラル実現に向けたチェックシート			
No.	項目	確認	解説
1	エネルギーの種類別 ⁽¹⁾ に毎月使用量を整理していますか ⁽²⁾ (※) 電気・ガス・熱供給の区分	□	エネルギー使用量の把握には、電力会社等からの明細が有効です。月別明細、前年同期との比較などを可視化することによって改善点が見つかります。
2	事業所のCO2の排出量(在庫)を把握していますか	□	自らの事業所のCO2排出量を把握することがカーボンニュートラルへの出発点です。燃料等使用量からCO2排出量の換算が可能です。以下を参考してください。 CO2チェックシート (日本商工会連合会)
3	事業所の電気、燃料の使用量を用途 ⁽³⁾ 別に把握していますか (※) 照明、空調、給湯	□	多くの場合、電気や燃料の使用量を示す計量器はほとんどありません。そのため、用途別の使用量を求めるためには、計算による推計を行うか、用途別計量による計量が必要です。そのようにして使用量を用途別に把握すれば、CO2発生量の多い用途を絞り込むことができます。
4	省エネルギー対策の検討・外部診断を要請したことがありますか	□	外部診断を要請することによりCO2削減率の大きな改善点を見出せます。省エネルギーセンターおよび各地域の省エネ支援団体が省エネに関する診断を実施しています。 一般社団法人省エネお助け隊 省エネお助け隊
5	省エネルギー・カーボンニュートラルを目的とした設備投資に、補助金が活用できることを知っていますか	□	様々なカーボンニュートラルに関連する補助金制度があります。 一般社団法人環境共創イニシアチブ 経済産業省のカーボンニュートラルに向けた中小企業支援策
6	中小企業のカーボンニュートラルへの取組事例を知っていますか	□	以下の中小企業の取組事例が参考になります。 中小規模事業者のための 脱炭素経営ハンドブック ver.1.1

カーボンニュートラル実現に向けたチェックシート			
No.	項目	確認	解説
7	カーボンニュートラル実現に向けた政府の取組を知っていますか	□	カーボンニュートラルへの挑戦が、産業構造や経済社会の転換をもたらす。大きな成長につながるという発想で、本気で取り組んでいくことが重要です。 脱炭素ポータル
8	自宅で太陽光など再生可能エネルギーでの発電を検討しましたが	□	再生可能エネルギーは電気に変換して使用するのがいやすく経済的です。その中でも、最も普及しやすいのが太陽光発電となります。 一般社団法人太陽光発電協会
9	再生可能エネルギーで発電した電気を購入することが検討しましたが	□	自宅で再生可能エネルギーを発電できない場合は、再生可能エネルギー発電を行っている小売電気事業者から電気を購入できます。これにより、自社にあった電力会社の選択が可能となります。 電力小売全面自由化 企業・自治体向け電力調達ガイドブック第5版 (2022年版)
10	【製造業向け】バイオマス燃料等を使用することで、CO2を削減ができることを知っていますか	□	バイオマス燃料は再生可能エネルギーです。建築材料、製材残材などをチップにしたものなどがあります。また、再生可能エネルギーは電気で利用することができ、中期的には化石燃料利用の設備から電気利用の設備に切り替えることもCO2削減に貢献します。
11	再生可能エネルギー発電(自家使用)や再生可能エネルギー電気の購入ができることを知っていますか	□	再生可能エネルギーによる電力を使用しなくても、グリーン電力証書 ⁽⁴⁾ で環境価値を購入することにより、再生可能エネルギーを使用しているとみなされます。 ⁽⁵⁾ (※) 環境価値の取引は、環境価値取引市場を通じて行われます。 証書の購入はグリーン電力の発電設備の建設、維持、拡大に貢献します。 トクレット制度

【オンライン相談窓口】
中小機構では、毎週火曜日と木曜日に専門家によるカーボンニュートラルについてのオンライン相談会(事前予約制、1時間無料)を実施しています。是非お気軽にご利用ください。
中小機構 カーボンニュートラルに関する相談ページ <https://www.smrj.go.jp/sme/consulting/sdgs/favos000001to2v.html>

https://j-net21.smrj.go.jp/solution/chusho_sdgs/carbonneutral/checksheet.html

(参考) 富山県におけるGHG・CO₂排出の現状

■ 温室効果ガス(GHG)総排出量 (令和元年度)

- ✓ 産業部門が最も大きな割合を占めている
- ✓ 全国と比較しても、富山県は 産業部門の占める割合が大きい

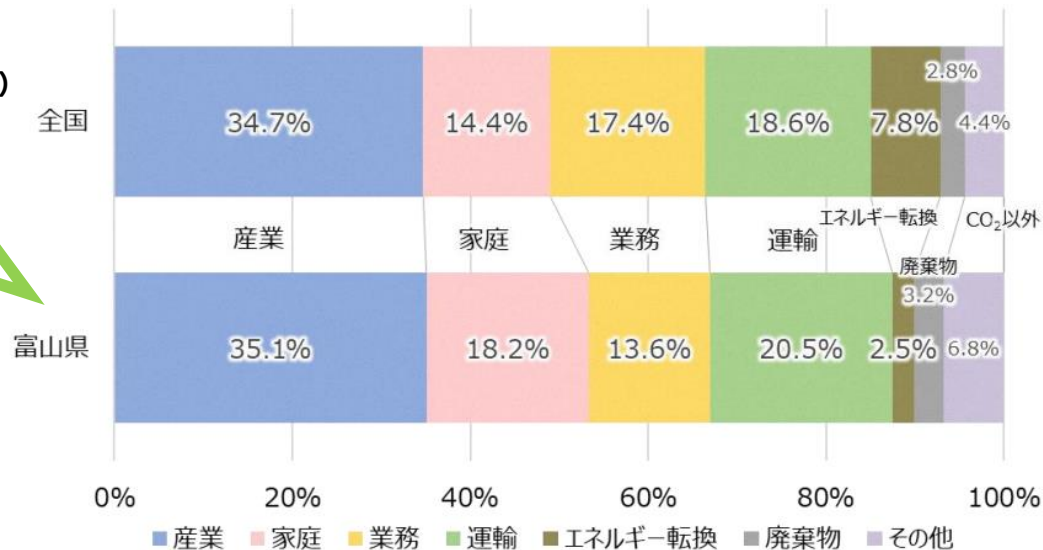
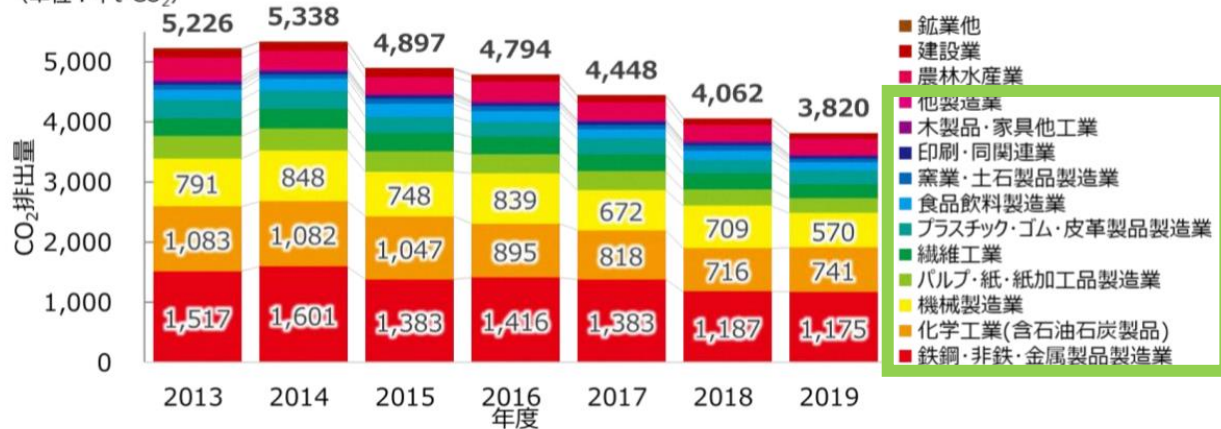


図 2-32 富山県と全国の温室効果ガス排出量 (2019 年度) の内訳

■ 産業部門におけるCO₂排出量 (令和元年度)

(単位: 千t-CO₂)



- ✓ 製造業が約91%を占めている

図 2-33 富山県の産業部門の業種別 CO₂ 排出量の推移

図: 富山県「富山県カーボンニュートラル戦略」第2章より

② 普及・啓発セミナー

中小機構では、カーボンニュートラルの取組みの普及・促進のため、支援機関などと共催でセミナーを行っています。

【過去のセミナー実施例】

中小企業脱炭素経営セミナー

日時：10月23日（木）11:00～11:45

会場：福井県産業会館2号館

（北陸技術交流テクノフェア会場内プレゼンコーナー）

対象：中小企業の経営者、部門リーダー、脱炭素経営等
に関心がある方など

受講料：無料

内容：

- (1) カーボンニュートラル・脱炭素経営の必要性
- (2) 脱炭素経営に取り組まなあいリスク・取り組むメリット
- (3) 脱炭素経営を実現するためのステップ

共催：福井商工会議所、福井県、中小機構北陸本部、
福井県環境・エネルギー懇話会

※北陸技術交流テクノフェアへの入場には、来場お申込みが別途必要です。

※テクノフェア会場内では、当機構がカーボンニュートラル相談ブースも設置。

中小企業 脱炭素経営 セミナー 10.23 (木) 11:00-11:45

カーボンニュートラルの実現に向け、大手企業が取引先である中小企業にもCO₂排出量の開示や削減を求める動きが加速しています。かつては一部企業の自主的な取組みと見られていた脱炭素対応も、今や信頼性や取引継続に関わる重要な経営課題となってきました。

本セミナーは、北陸技術交流テクノフェアの会場内にて、カーボンニュートラルの背景や必要性を押さえ、脱炭素に対応しないリスク・取り組むメリット、「知る」「測る」「減らす」のステップ、Scope1・2の考え方など、実践に向けた進め方を解説します。

会場：福井県産業会館2号館（北陸技術交流テクノフェア会場内プレゼンコーナー）

※北陸技術交流テクノフェアへの入場には、別途申し込みが必要です。

講師：中小企業基盤整備機構 中小企業アドバイザー（経営支援） 坂田 卓也 氏

日本大学大学院理工学研究科（機械工学専攻）を修了後、大手印刷会社・蓄電システム開発会社を経て、経営コンサルタントとして独立。経営工学（IE）を活用した生産性改善、品質管理（QC）・品質改善、新工場計画、生産ラインの自動化等のコンサルティングを行う他、省エネルギー診断や SBT の計画策定など脱炭素に係わる取り組みにも従事。印刷関連業・金属加工業・食品加工業・繊維業など幅広い業種の支援に携わっている。合同会社サカタ経営代表社員。株式会社エネルギーソリューションジャパン取締役。



- 【内容】(1) カーボンニュートラル・脱炭素経営の必要性
(予定) (2) 脱炭素経営に取り組まなあいリスク・取り組むメリット
(3) 脱炭素経営を実現するためのステップ

北陸技術交流テクノフェア会場内には、中小機構がカーボンニュートラルや脱炭素経営に関する相談ブースを設けています。セミナーと併せてご利用ください。

対象：中小企業の経営者、部門リーダー、脱炭素経営等に関心がある方など

受講料：無料

共催：福井県、(独)中小企業基盤整備機構 北陸本部、福井県環境・エネルギー懇話会、福井商工会議所

お申込み・お問い合わせ先

福井商工会議所 産業技術・DX推進課
Tel.0776-33-8252 E-mail sangyou@fcci.or.jp

右記の二次元コードを読み取り、お申し込み下さい。



※お申込みいただいた情報、当日の様子（映像・写真等）は開催者からの各種連絡・情報提供のために利用させていただきます

③ オンデマンド講座

中小企業大学校 WEBee Campus (ウェビーキャンパス)

【無料オンデマンド講座】

中小企業の目線で取り組む カーボンニュートラルの進め方

受講対象者

- ✓ 中小企業者、中小企業支援者
- ✓ 取引先よりカーボンニュートラルの取組みを求められている方
- ✓ 時代の流れを踏まえて先手を打つことで一歩先を行く環境対応企業を目指す方
- ✓ カーボンニュートラルについてゼロから学びたい方

https://www.smrj.go.jp/institute/web/ondemand_course/index.html

1本あたり5～10分の動画、全26本で構成されています。オンデマンド講座登録が必要ですが、無料で視聴頂けます。

<p>1. カーボンニュートラルに取り組む理由</p>	<ul style="list-style-type: none"> •【オープニング】漫画アニメーション「いま、時代はカーボンニュートラル！わが社も脱炭素について真剣に考える時が・・・」 •【注目理由1】なぜカーボンニュートラルに取り組む必要があるのか？ 企業を取り巻く環境の変化 •【注目理由2】なぜカーボンニュートラルに取り組む必要があるのか？ 活動で得られること •【国際的な対応1】SBTとは何か？ •【国際的な対応2】中小企業版SBTとは何か？
<p>2. 現状把握と目標設定</p>	<ul style="list-style-type: none"> •【まんが】CO2排出量の算出式って何？ •【全体フロー】カーボンニュートラル活動の全体像 •【現状把握1】自社のCO2排出量を把握するためには (1) CO2排出量の計算方法 •【現状把握2】自社のCO2排出量を把握するためには (2) 電気のCO2排出量の把握 •【現状把握3】自社のCO2排出量を把握するためには (3) ガス・燃料油などのCO2排出量の把握 •【目標設定・認定】目標設定と対外的アピール
<p>3. CO2排出量の削減計画 (1)</p>	<ul style="list-style-type: none"> •【まんが】エネルギーフローとパレート図って何？ •【計画1-1】CO2削減の狙い目を探すには (1) 施設・エネルギーごとに比較する •【計画1-2】CO2削減の狙い目を探すには (2) 設備・工程ごとに比較する •【まんが】CO2を削減する3つの方法って何？ •【計画2】削減に向けての考え方：CO2排出量を面積で考える •【計画2-1】省エネ6つのポイント：「ヤメル」について •【計画2-1】省エネ6つのポイント：「トメル」「サゲル」について •【計画2-1】省エネ6つのポイント：「ナオス」について •【計画2-1】省エネ6つのポイント：「ヒロウ」「カエル」について
<p>4. CO2排出量の削減計画 (2)</p>	<ul style="list-style-type: none"> •【計画2-2】CO2の排出係数の低減：電力・非電力 •【計画2-3】エネルギーの電化：燃料油の電化 •【まんが】ロードマップの作成と補助金の利用 •【計画3】ロードマップ作りと補助金の活用
<p>5. 活動事例</p>	<ul style="list-style-type: none"> •【活動事例1】カーボンニュートラルの取組みを始めたきっかけとは？ •【活動事例2】カーボンニュートラルの取組内容について •【活動事例3】取組みの障壁と突破方法とは？ •【活動事例4】取組みを組織内に浸透させた方法とは？ •【活動事例5】カーボンニュートラル経営 今後の展望
<p>まとめ</p>	<ul style="list-style-type: none"> •【まとめ】講師からの総括コメント •【まんが】この取組で我が社は『選ばれる会社』になった！

③ オンデマンド講座

中小企業大学校 WEBee Campus (ウェビーキャンパス)

【無料オンデマンド講座】 サプライチェーンで取り組む カーボンニュートラル

受講対象者

- ✓ 中小企業者、中小企業支援者
- ✓ サプライチェーンでの取り組みにより、取引先よりカーボンニュートラルの取組みを求められている方
- ✓ カーボンニュートラルに関する企業の取組み事例を知りたい方
- ✓ 環境省のカーボンニュートラルに関する最新の取組みを知りたい方

https://www.smrj.go.jp/institute/web/ondemand_course/hkj3i80000009atu.html



サプライチェーンでの取り組みについて実際の事例を多数ご紹介しています。

第1回	オープニング (約3分)
第2回	明電舎の取り組み (約10分)
第3回	東名電機の取り組み (約15分)
第4回	三静工業の取り組み (約11分)
第5回	たつみ電機製作所の取り組み (約13分)
第6回	環境省の取り組み (約15分)
第7回	クロージング (約5分)

③ 中小企業大大学校（研修）

有料

中小企業大大学校 WEBee Campus （ウェビーキャンパス）

【研修】

カーボンニュートラル戦略の支援 （基本編）【7月・午後】

開催期間：2026年7月27日（月）、
8月3日（月）
（各3時間×2日間）

定員：10名

受講料：16,000円（税込）

受講対象者：中小企業支援機関

<https://webeecampus.smrj.go.jp/courses/hien/261005/>

中小企業支援機関の方は、
受講をご検討ください。

日程	内容
2026年 7月27日(月)	カーボンニュートラルと今後の事業環境変化、取り組みの概要 1. 地球温暖化 ・原因と地球規模の影響 ・カーボンニュートラルの目指すところ ・カーボンニュートラル以外の地球温暖化対応 2. 世界の動き ・気候変動関連イベントとカーボンニュートラルの広がり ・NDCとGHG削減状況 3. 国内の動き ・カーボンニュートラルに係る政策の動向 ・大企業のサプライチェーンへの要求 ・金融機関の動向 4. 中小企業とカーボンニュートラル ・国内外の潮流の影響 ・カーボンニュートラル経営の考え方 5. その他キーワード ・排出量取引と化石燃料賦課金 ・Scope3とCFP 6. カーボンニュートラルの取り組み ・知る・測る・減らすの具体的な流れの概要 7. ケーススタディのポイント ・CO2排出量見える化の基本
2026年 8月3日(月)	CO2排出量の見える化を理解しよう 1. ケーススタディ ・A社のCO2排出量の把握・算定 ・見える化を削減の取組につなげる支援のポイント 2. 先進事例等紹介

④ 診断ツール「キヅコ(KiduCO2)」

- カーボンニュートラルや省エネの取組みを4ステップで簡単に診断し、その結果に基づいて事業に潜むリスクを表示。適切な相談窓口等へナビゲートします。

無料簡易診断ツール



KiduCO₂(キヅコ)

～リスクに気づこう、未来を築こう～

<https://biz-riskshindan.smrj.go.jp/>



- ✓ 取引先からCO₂排出量について問い合わせを受けた
 - ✓ 自社の電気・ガス・燃料などの使用量を把握している
 - ✓ 省エネやCO₂排出量削減に向けた実行計画がある
- など、当てはまる項目をチェックしていくと…

現在の**自社のステージ**が表示され、**次のステップ**を確認できます。

知るステージ



省エネやカーボンニュートラルをもっと“知る”ことから始めてみましょう

測るステージ



自社の製品やサービスに関わるCO₂排出量を測定しましょう

減らすステージ



CO₂の排出量を具体的に減らす取組みを始めましょう

備えるステージ



大きな災害が生じた場合に備えて対策を始めましょう

⑤ カーボンニュートラル相談窓口

- 中小企業・小規模事業者に向けて、カーボンニュートラルや脱炭素化について、無料の相談窓口を開設し、全国各地でオンラインや対面で相談を受け付けています。

カーボンニュートラル相談窓口

- 場所：中小機構北陸本部
(対面またはオンライン)
- 費用：無料
- 申込方法：HPから申し込むか、北陸本部にご連絡ください。

「CN相談」で検索

https://www.smrj.go.jp/regional_hq/hokuriku/sme/cn/index.html



経験豊富な専門家が無料で相談にお答えします。

カーボンニュートラルの取り組みに関わる様々な相談に対応しています。お気軽にお申し込みください。

- ✓ どのようにカーボンニュートラルに取り組んだらよいか わからない
- ✓ 再生可能エネルギーを導入したい
- ✓ SBTやRE100 (中小企業版) へ 加入する方法やメリットを知りたい etc...



⑥ CO₂排出量算定支援

- カーボンニュートラル・脱炭素化に向けたCO₂排出量算定にお困りの方を対象に、最大3回まで中小機構の専門家が無料でアドバイスを実施。

<CO₂排出量算定支援内容の一例>

1. 現状把握

専門家が貴社の工場等を訪問し、CO₂排出量チェックシートを作成、CO₂排出量算定のポイントや算定方法について説明します。

2. 課題発見

1回目で作成したCO₂排出量チェックシートから自社の状況や課題を整理します。

3. 削減対応の検討

2回目で整理した課題を基に、貴社のCO₂排出量削減目標値を設定、今後の削減行動を検討します。

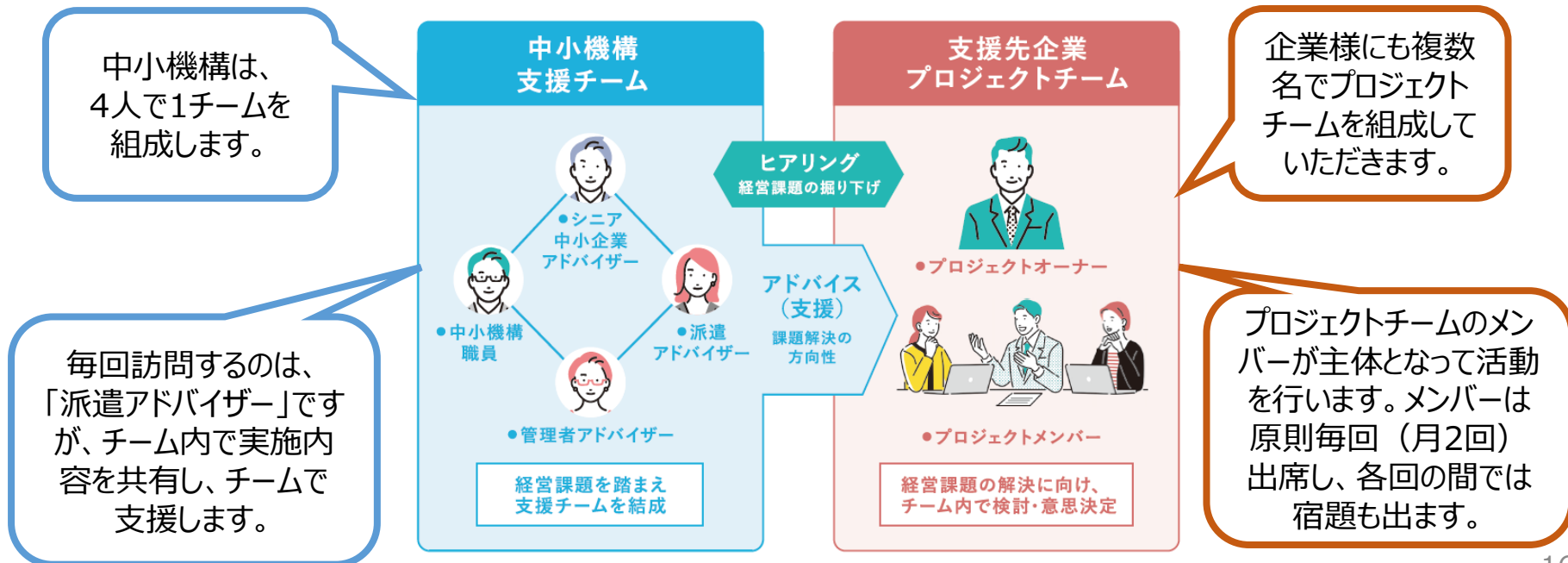
⑦ ハンズオン支援（専門家派遣）

有料

Be a Great Small.
中小機構

- 中長期的に専門家を派遣し、カーボンニュートラルに向けたCO2排出量削減計画の策定・実行を支援
- 支援開始前に複数回の現場調査・ヒアリングを実施し、経営者との対話を通じて経営課題の優先順位、支援方針を見極め
- 企業の課題・テーマに応じた「支援計画書」を提案し、支援チームが複数の目で支援プロセスを管理
- 企業はプロジェクトチームを編成し、企業が主体となったプロジェクト活動を支援
- 課題解決プロセス（PDCA）をOJTで支援して「人材育成」と「仕組みづくり」を図り、企業の自立的な課題解決を目指す

※ご利用には審査があります。





Be a Great Small.

中小機構

【お問い合わせ先】

中小機構北陸本部 企業支援課

石川県金沢市広岡3-1-1 金沢パークビル10階

TEL : 076-223-5546